

新型コロナウイルスの

感染予防について

はじめに

- 新型コロナウイルスは、**次亜塩素酸ナトリウム**や**消毒用アルコール**を**適切な濃度**で使用すれば感染力を失います。
- 新型コロナウイルスの感染予防のために施設を消毒するときは、
 - 0.05% 次亜塩素酸ナトリウム
 - 70% 消毒用アルコールを使用し、以下の点に注意して安全に消毒しましょう。

1 消毒する場所

手指がよく触れる場所

自宅

【リビングなどの共用部分】

- ドアノブ、手すり
- 照明などのスイッチ
- 机・椅子などのよく触れる場所

【洗面所やトイレ】

- 水道の蛇口、トイレの流水バー

【その他手指が触れそうなところ】

- パソコンのマウス・キーボード

など

職場

【共用部分】

- エレベーターのボタン
- ドアノブ、手すり
- 照明などのスイッチ
- 机・椅子などのよく触れる場所

【洗面所やトイレ】

- 水道の蛇口、トイレの流水バー

【その他手指が触れそうなところ】

- パソコンのマウス・キーボード
- 電話・FAX

など

2 消毒方法

用意するもの

- 消毒液（※作り方は後述します）
- 清潔な乾いた布（ぞうきんなど）← 使用後に廃棄！
- 使い捨て手袋
- ゴミを入れるビニール袋
- マスク
- ゴーグル

0.05%(500ppm)次亜塩素酸ナトリウムの作り方



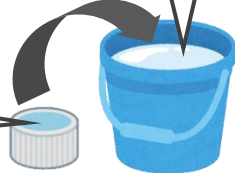
市販されている塩素系漂白剤は、メーカーによって濃度が異なります。ラベルに記載された濃度を確認し、水道水で薄めて使用してください。

参考 家庭用の塩素系漂白剤（約5%）を使用する場合

- 1 バケツを用意する（消毒薬であることが分かるようにしておく）。
- 2 バケツに水道水2Lを入れる。
- 3 塩素系漂白剤容器のキャップ1杯分（約20mL）をバケツに入れる。

塩素系漂白剤（約5%）
1杯（約20mL）

水道水
2L



- ・薄めた次亜塩素酸ナトリウムは、時間が経過するにつれて効果が弱くなりますので、使用時に必要な量だけ作り、使い切るようにしましょう（“作り置き”は避けましょう）。
- ・次亜塩素酸ナトリウムを、酸性洗剤やエタノール等（アルコール）と混ぜると有毒ガスが発生するため危険です。使用の際は、各商品の「使用上の注意」を確認しましょう。
- ・皮膚に対する刺激が強いため、手指の消毒には使用できません。必ず、ゴム手袋をつけてください。

次亜塩素酸ナトリウムによる消毒の流れと注意事項

1 使い捨て手袋を着用する。

- 手荒れするおそれがあるので、消毒液に直接触れないようにしましょう。
- マスクやゴーグルなどもあわせて着用しましょう。

2 窓を開ける（換気をよくする）。

3 消毒場所が汚れている場合や濡れている場合は、まず汚れや水分を拭き取る。

- 消毒液の有効濃度を保つために拭き取っておきましょう。

4 清潔な乾いた布（ぞうきんなど）に消毒液を浸し、よく絞って消毒場所を拭く。

- スプレーボトルでの噴霧は、付着していたウイルスが飛散する可能性があり、好ましくありません。
- 次亜塩素酸ナトリウムには脱色（漂白）作用があり、カーペットなどの色付きの繊維は色落ちすることがあるため、使用は避けましょう。

5 消毒後10分程度経ったら、水拭きする。

- 次亜塩素酸ナトリウムには金属を腐食する作用があるため、金属のサビを防ぐために水拭きしましょう。

6 使用したぞうきんや手袋などをゴミ袋に入れ捨てる。

7 消毒後は、石けんでしっかり手を洗う。

